

「暗黙知」を人の脳から  
読み出しAI化

# Sense I

センスアイ

柔軟な思考を持つ人間知能と  
人工知能の融合



## 説明が難しい判断をAIに取り込み、 高度な作業を自動化

Sense Iは、人間の認識、判断を基にしたAIを作り上げることが  
可能なプラットフォームです。



### 視覚・聴覚から判断

5感の情報から人が判断  
した結果をAI化

※味覚・臭覚・触覚は今後開発予定です



### マルチモーダル性

複数の知覚情報からの  
判断を学習



### 素早いアノテーション

1秒に3~4種のデータ  
に対してアノテーション



### 学習データを最小化

少ないデータ量で効率  
よく学習



### 集中力・疲労をモニタ

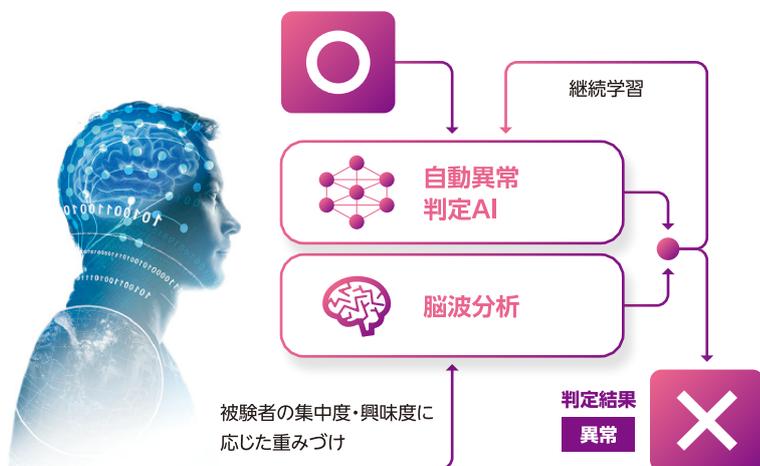
人の集中力・疲労を脳波から  
モニタリングすることが可能。  
アノテーション時のヒューマン  
エラーを防止



### 高い精度

通常のAI学習よりも高  
い精度

### AI 学習 & 意思決定システム



Sensel は人間の脳波を用いて熟練者の意思決定モデルを生成する AI です。

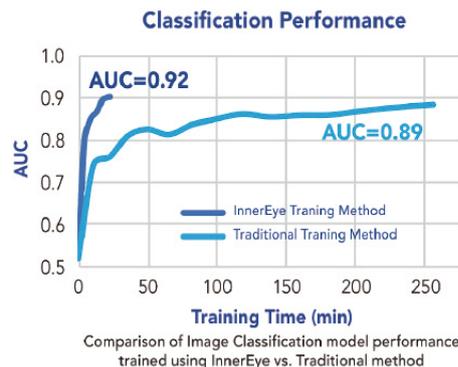
人が判断する際に発生する脳波 (ERPs) によって熟練者にとって何を異常と感じるかの判断基準を定量化し自動異常判定 AI を生成します。学習後は AI モデルを分離し、プロセス自動化などに活用いただくことができます。

### 従来の AI に対する優位性

Sensel は人間の脳波を用いて学習することで、判断モデルを柔軟に改善することができます。

従来の AI トレーニング手法と比べても、学習に必要なデータ数を抑えられることや、アノテーションの効率化によって学習時間を従来の 10 倍短縮することが出来るため、開発にかかる工数や費用の大幅な削減を実現することが出来ます。

コスト以外にも脳波といった特異なアプローチにより、従来の手法では実現できなかった高い精度の AI モデルを生成することも期待することができます。



### 利用シーン

Sense I は、セキュリティ、製造業などの目視検査、医療現場など、様々な業界、場面でのユースケースが想定されます。



手荷物検査場のように常時新しい異常パターンを効率的に学習させていく必要があるシーン



色むらや質感・等級判定などといった熟練者の高度な判断を自動化



専門医による診断・所見を高速で抽出

